



刈谷南中学校新聞

第412号 令和5年11月9日
刈谷市立刈谷南中学校
刈谷市住吉町2丁目1番地
電話 0566-21-0025

『思い』をつなぎ合って ～文化学習会「合唱コンクール」～

校長 葉山 靖彦

11月4日（木）に行われた文化学習会の合唱コンクールでは、それぞれの学年・学級が素晴らしい合唱を発表してくれました。特に、3年生は最高学年にふさわしい感動的な発表ばかりでした。

3年生の合唱は、当日の発表の素晴らしさはもちろんですが、そこに至るまでの準備や練習の姿も素晴らしかったのです。よい合唱にするために、学級で本気で意見をぶつけ合う姿もありました。寸暇を惜しんで朝や授業の間に、廊下や運動場でも、何度も練習を繰り返していました。こうした思いがあったからこそ、聴く人を感動させられる合唱になったのだと思います。3年生の合唱を見ていると、クラスの一人一人が指揮者に向かい、身体全体を使って歌声を響かせている姿が見られました。一人一人の思いを乗せた歌声が一つにまとまり、心に響く合唱を創り出していることを実感します。こうした3年生の思いが1・2年生につながり、さらに素晴らしいものに創られていくのでしょうか。刈南中の伝統が進化していく一場面だと感じました。

今回の合唱コンクールで3年生最優秀賞に選ばれた3年4組は、11月11日（土）の刈谷市小中音楽会で合唱を披露します。3年生全員の思い、1・2年生の思いを乗せて、代表として素晴らしい合唱を創り上げてくれると思います。



健闘しました! 駅伝部

10月21日（土）岡崎市龍北総合運動場で、第73回西三河中学校駅伝競走選手権大会が行われました。今年度は、3年生を中心に強者を結集してチーム駅伝部を作りました。夏休みから定期的に練習を積み重ねた刈南中駅伝部は、チームワーク抜群で大会当日迎えました。出場校50チームを超える中で、男子の部18位、女子の部24位でした。みんなががんばってきた成果が実った大会でした。選手の皆さん、お疲れ様でした。



文化の秋 文化学習会 翔 ～伝統と新風をつなぐ 新たな舞台～



11月2日(木)に、文化学習会が行われました。午前中には合唱コンクール、午後は文化部の発表がありました。後半は、実行委員会が中心となって会を進めました。実行委員会が企画したミニコーナーでは、生徒があまり入らない南の風記念館のことや、普段気につけない場所に目を付け、インタビューやクイズで、学校の謎を探りました。本編では、音楽部、科学部、美術部、ボランティア部の各々が、個性豊かなパフォーマンスで会場を盛り上げました。



ボランティアもがんばる南中生

10月29日(日)には、元刈谷地区レクリエーション大会の補助係として、また、11月4日(土)には、恒例の下り松川の間引き補助としてのボランティア活動がありました。



レクリエーション大会では、審判やゴールの補助、器具の準備などをしました。間引き活動ボランティアでは、今年も160人を超える南中生が集まり、事前に剪定されている木片を運び、トラックに積んだり、長めの枝を短く切ったりする作業を行いました。今後も地域からのボランティアのお誘いがありますが、意欲的に参加をする刈南中の伝統を、繋げていってほしいと思います。

いよいよKMPが始動



昨年度発足したKMP(校則見直しプロジェクト)が、いよいよ今年も第2次KMPとして活動を開始しました。新生KMPには、1年生から3年生まで24名の有志が集まりました。これまでの生徒の様子の振り返りと、曖昧な部分の見直しを中心に、「かりなんナビ」をより分かりやすくよいものにするようにと、知恵を出し合います。

決められたことを守るだけではなく、TPOを自分自身で判断し、正しい姿を自ら考え実践できる刈南中生を目指して、この「かりなんナビ」と名付けた冊子ができました。この趣旨を大切に、ぶれることのない冊子が、生徒と教師の手で醸成されていくことを期待しています。

